

ワイヤレスシステムに信号灯を統合する受信機

03/16/2022

シュトイテのビジネス分野「ワイヤレス」は、ワイヤレスセンサやアクチュエータのラインナップをさらに拡大しています。新しいワイヤレスアクチュエータは信号灯やスタックライトをsWave.NETネットワークに取り入れることを可能にします。



シュトイテのビジネス分野「ワイヤレス」は、ワイヤレスセンサやアクチュエータのラインナップをさらに拡大しています。新しいワイヤレスアクチュエータは信号灯やスタックライトをsWave.NETネットワークに取り入れることを可能にします。

RF UBR (多機能双方向受信機) というデバイスを利用すると、さまざまなメーカーの既存または新しい信号灯を制御できます。つまり、工場や機械のオペレーターは、ERP、倉庫管理、またはeKanbanシステムなどからの情報を受信することができます。さらにこのアクチュエータは、生産、組み立て、ピッキングにおけるリアルタイムの監視とデータ分析にも使用できます。

RF UBRは、既存の24 VDC電源に接続するタイプと85-230 VAC電源に接続するタイプの2

種類があります。後者は、外部電源なしでワイヤレスアクチュエータを介して信号灯に完全に供給できます。ワイヤレス接続は、産業用で国際的に使用可能なsWave.NET無線プロトコルを利用しています。

ワイヤレスアクチュエータのスイッチング出力はsWave.NETワイヤレスネットワークのセンサブリッジのウェブインターフェースにより設定し、可視化することができます。

新しいワイヤレスアクチュエータでは、ユーザーは機器のステータスの変化をホストシステムから遠隔操作で現場の信号灯へ伝えることができます。信号灯をワイヤレスネットワークに統合することで、製造のボトルネックを直ちに発見することができます。ショップフロアは透明性が高くなり、機械の監視が簡単になり、遅延なく材料不足を検出し、それを防ぐことができます。

そのため、新しいアクチュエータは、主に産業用インフラロジスティクスで使用されるsWave.NETネットワークで重要な役割を果たします。信号灯の制御に加え、多機能ワイヤレスアクチュエータとして工場のゲートの開閉など制御としても活用できます。